

文部科学省

生きる力 学びの、その先へ

- ・実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能
- ・未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力など
- ・学んだことを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性など



本県教育の目標

ひとりひとりの能力を開発し 豊かな人間性をつちかう
 じょうぶな身体をつくり たくましい心を養う
 郷土を愛し 協力し合う心を育てる



令和5年度 大村小学校

学校経営グランドデザイン

本市の教育目標

自ら学び自ら考え確かな学力を身につける
 思いやりのある豊かな人間性をつちかう
 たくましい心身とともに健康な体をつくる



明野地区小中一貫目標

- 未来を拓く、明るく、たくましい明野っ子の育成
- ①発達や学びの連続性を踏まえた保幼小中高連携教育の充実
 - ②小中一貫推進協議会の充実
 - ③交流活動の工夫改善・義務教育学校開設準備

学校教育目標

未来を拓く 明るく たくましい大村っ子の育成



めざす学校像

- 元気なあいさつが響き、夢とやる気であふれる楽しい学校
- 全員のチームワークでいつもきれいに整えられた美しい学校
- 積極的に連携し、地域から愛され信頼される開かれた学校

めざす児童像

- あ かるい未来に向かって学び続ける子【確かな学力】
- け んげんな心もち協力し合える子【協働・チームワーク】
- の びやかにたくましく成長できる子【心身の健康】

めざす教師像

- 子どもの成長を願い、子どもと共にある教師
- 夢と情熱をもち、子どもの夢を育む人間性豊かな教師
- 子ども・保護者・地域に信頼され、温かい絆で結ばれた教師



研究主題

子供たち一人一人の解決する力を育てるための算数科授業の在り方
 ～児童が粘り強く取り組める学習場面の工夫～



組織目標

一人一人の個性や長所が生きる創意ある教育活動の実現をめざす

- 1 「夢を育てる」「学び合う」「認め合う」授業づくり
- 2 月の超過勤務 45 時間以下を達成し、児童との笑顔あふれる時間を増やしていく

令和4年学校評価から課題

- よさ
- ・ 明るさ
 - ・ やさしさ、協力する心
 - ・ 異学年交流
 - ・ 時間で行動できる
- 課題
- ・ 自分の考えを発表できる
 - ・ 文章問題（読解力）
 - ・ 場に応じた言葉

おおむら プロジェクト

	元気プラン 【健やかな心と体をもつ児童に】	笑顔プラン 【思いやりをもつ児童に】	夢プラン 【自ら学ぶ児童に】
知識及び働く技能	○基本的運動能力の育成による体力の向上の推進 ・運動の日常化（体力テスト結果を活用し、授業改善、業間運動の工夫） ・楽しんで運動に親しむことができる授業 ・時間を守った行動の徹底→規律ある動き、場に応じた正しい姿勢 ・運動会、持久走大会、縄跳び検定に向けての練習	○夢や希望をもって生きようとする心を育む教育の推進 ・活躍の場づくり（授業、行事、委員会、係、当番活動） ○基本的生活習慣の定着と、規範意識の高い児童の育成 ・場に応じたあいさつ、言葉遣いの徹底 ・時間で行動できる（開始時刻、終了時刻）集団の育成 ・相手の立場に立った言葉遣いや行動の定着	○学ぶ楽しさが実感できる授業づくり—授業改善 ・わかる授業（ユニバーサルデザインの視点を生かした授業づくり） ○基礎的・基本的な知識・技能の定着 ・家庭学習の手引きの活用 ・読書活動の活性化（みんなにすすめたい一冊の本年間50冊読破への挑戦） ・家庭との連携、家庭学習の習慣化（「協和学びの日」の取組）
未知の状況にも対応できる判断力	○規則正しい生活を送ることができ、健康安全を図るためのよりよい方法を判断できる力をつける。 ・手洗い、歯みがきの習慣化 ・食育の充実 ・おおむら救命士検定 ・AED研修（あわてず適切な行動ができるように） ・学校における「新しい生活習慣」の徹底	○特別活動の活性化とコミュニケーション能力の育成 ・キラキラ隊活動の積極的取組 ・体験活動の充実 ・あいさつ運動の積極的な取組 ○多様な考えを認め、問題を解決する力を育む ・学級活動や話し合い活動の充実による人間関係づくり ・考え、議論する道徳授業の推進 ・人権教育の充実 ・特別支援教育の充実	○自分の考えや思いを適切に表現できる力の育成 ・言語活動の充実 ○交流・表現の場を積極的に位置づけた授業のデザイン ・学び合い、振り返りの重視（形態の工夫・目的に応じた交流） ○根拠をもとに論理的に説明できる力を育む ・算数教育を中心とした授業力の向上 ・プログラミング教育の推進とプログラミング的思考の育成
学んだことを生かす力	○命を大切に教育の推進 ・交通安全指導の強化、避難訓練の実施（工夫改善）あつてはならない事故をおこさないための段階的指導（おおむら救命士検定） ○あきらめない心を育む指導プロセスの構築と実践 ・運動会、持久走、縄跳び大会に向けた目標設定と「やる気」を持続させる指導	○異学年交流活動による助け合う心の育成 ・縦割り班活動や縦割り学習会の工夫 ○心の居場所となる温かい学級づくり ・互いのよさがわかり認め合える学級経営 ○読書に親しむ児童を育てる ・読書強化週間の充実 ・読書時間の確保（朝の自習・すき間時間）	○主体的に学習に取り組む態度を育む ・学びの連続性を意識した授業の終末の工夫 ・家庭学習の習慣化と内容の充実 ・授業で学んだ内容を実生活でどう生かせるか ○個に応じた指導の充実を図る ・繰り返しの学習や補充学習の徹底 ・練習問題の工夫（ねらいに即した内容の吟味）
数値目標	○休み時間友だちと元気に遊ぶ ○体力テストA+B ○早寝 早起き 朝ご飯 ○欠席0の日 ○1年間交通事故 学校評価 児童3.7 65%以上 学校評価 保護者3.7 児童3.7 20日以上 0件	○学校が楽しい ○夢や目標をもち頑張る ○進んで大きな声で挨拶 ○無言清掃ができている ○自分にはよいところがある ○いじめの早期発見・解消 学校評価 保護者3.4 児童3.7 学校評価 保護者3.1 児童3.7 学校評価 保護者3.6 児童3.6 学校評価 教職員3.6 児童3.6 学校評価 保護者3.1 児童3.4 100%	○学習の約束を守っている ○自分の考えを書いている ○授業がよくわかる ○県学力診断のためのテスト ○年間読書冊数50冊以上達成 学校評価 教職員3.6 児童3.6 学校評価 教職員3.5 児童3.3 学校評価 保護者3.0 児童3.6 県平均+5点以上 100%

<p>【教職員の資質・能力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コンプライアンスの徹底(研修、チェックシート) ○「働き方改革」業務効率化・適正化による子供と向き合う時間及びメンタルヘルスの確保（月の超過勤務45時間以下を目標とする） ○教員評価の積極的な活用による資質・能力の向上 ○PDCAサイクルを生かした学習指導、生徒指導の充実 ○学級経営の工夫改善(心の居場所づくり) 	<p>【知的好奇心・感性を育む環境づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ICT(一人一台端末)を効果的な活用した、個別最適な学び、協働的・探求的な学びの充実 ○知的好奇心を刺激する学校内環境の工夫 ○図書室の整備と活用 ○学習花壇整備と栽培・飼育活動の充実 ○季節に合った環境づくり（掲示物など） 	<p>【特別支援教育の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育コーディネーターを軸とした特別支援体制の強化 ○特別な支援を必要とする児童に全職員で関わる ○特別支援学校との連携 ○インクルーシブ教育の理解浸透 ○人権教育の推進 	<p>【開かれた学校づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○持続可能な開発目標(SDGs)の推進 ○学校評価の結果を生かした工夫改善 ○保幼小連携、小中一貫の積極的な推進 ○学校便り、HP、メール等の情報発信 ○地域の教育力を生かした活動の工夫 ○PTA・育成会との連携 ○学校評議員との情報共有 	<p>【予算の適切で効果的な活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市費 ○PTA会費 ○教育後援会費 ○学年費・教材費 ○教育研究に係る費目 ○寄付金等
--	---	--	--	---

信頼と教育効果を高める基盤